

# 上球磨消防組合人事行政の運営等の状況の公表について

## 1 職員の任用及び職員数の状況

### (1) 職員の採用

平成29年度中に新たに採用された一般職の職員の状況は、次のとおりです。

区分	職種	採用者数
高卒程度	消防職	0人

### (2) 職員の離職

平成29年度中離職した一般職の職員の状況は、次のとおりです。

定年退職	その他	合計
0人	0人	0人

### (3) 職員数

#### 1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

部門	職員数		対前年増減数	主な増減理由
	平成30年	平成29年		
一般行政	-	-	-	
消防	63	62	1	新規採用者1人
計	63 [67]	62 [67]	1 [0]	

(注) [ ]内は、条例定数である。

#### 2) 年齢別職員構成の状況（平成30年4月1日現在）

区分	20歳	20歳	24歳	28歳	32歳	36歳	40歳	44歳	48歳	52歳	56歳	60歳	計
	未満	23歳	27歳	31歳	35歳	39歳	43歳	47歳	51歳	55歳	59歳	以上	
職員数	0	7	11	15	9	4	3	5	3	2	4	0	63
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

#### 3) 職員数の推移

部門別	年度	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	過去5年間の増減数(率)
一般行政		0	0	0	0	0	0	0 人 - %
消防		65	65	63	62	62	63	▲2 人 3.2 %
総合計		65	65	63	62	62	63	▲2 人 3.2 %

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

## 2 職員の人事評価の状況

平成29年度…人事評価による昇給への勤務成績の反映なし

## 3 職員の給与状況

### (1) 人件費の状況

区分	住民基本台帳人口 30年3月31日	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 28年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
29年度	-	560,165	11,436	410,474	73.28	76.70

(2) 職員給与費の状況

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
29年度	人 62	千円 186,815	千円 51,409	千円 71,930	千円 310,154	千円 5,002

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。  
2 職員数は、平成29年4月1日現在の人数である。

(3) 一般職行政給料表の状況（平成30年4月1日現在）

	1級	2級	3級	4級	5級	6級
1号給の給料月額	142,600	192,700	228,900	262,000	288,000	318,500
最高号給の給料月額	247,100	303,800	349,600	380,600	392,600	409,800

(4) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成30年4月1日現在）

一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
上球磨消防組合	34.7 歳	255,275 円	308,233 円	274,581 円

- (注) 1 「平均給料月額」とは、平成30年4月1日現在における職員の基本給の平均である。  
(注) 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、住居手当、時間外手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。  
また、「平均給与月額（国比較ベース）」は、比較のため、国家公務員と同じベース（＝時間外勤務手当等を除いたもの）で算出している。

(5) 職員の初任給の状況（平成30年4月1日現在）

区 分	上球磨消防組合	国
一般行政職	大 学 卒	- 円 179,200 円
	高 校 卒	147,100 円 147,100 円

(6) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（平成30年4月1日現在）

区 分	経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	- 円	- 円	- 円
	高校卒	* 円	* 円	333,967 円

- (注) \*は、対象者が少数のため非公表

(7) 一般行政職の級別職員数の状況（平成30年4月1日現在）

等級	標準的な職務内容	職員数	構成比	職制上の段階	
				階級	(人)
1	主事の職務	16 人	25.4 %	主事級	消防副士長 1
				消防士 15	
2	主任及び特に高度な知識又は経験を必要とする業務を行う主事の職務	24 人	38.1 %	主任級	消防士長 12
					消防副士長 10
					消防士 2
3	係長、参事及び主査の職務	10 人	15.9 %	係長級	消防司令補 3
					消防士長 7
4	課長の職務（5級に掲げる職務を除く。）審議員、課長補佐、主幹の職務及びその職務内容等がこれと同程度のものとして長が規則で定める職務	8 人	12.7 %	課長級	消防司令 3
					消防司令補 5
5	本部次長、署長、総務課長、首席審議員の職務及びその職務内容等がこれと同程度のものとして長が規則で定める職務	4 人	6.3 %	次長級	消防司令 4
6	消防長の職務	1 人	1.6 %	消防長級	消防司令長 1

- (注) 1 上球磨消防組合の給与条に基づく給料表の級区分による職員数である。  
2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。

(8) 期末手当・勤勉手当

上球磨消防組合	国
1人当たり平均支給額(29年度) 1,121 千円	-
(29年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.60 月分 1.80 月分	(29年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.60 月分 1.80 月分 (1.45) 月分 (0.77) 月分
(加算措置の状況)	(加算措置の状況)
職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算5~10%	職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算5~20% 管理職加算10~25%

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

(9) 退職手当(平成30年4月1日現在)

上球磨消防組合			国		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	19.6695 月分	26.36550 月分	勤続20年	19.6695 月分	26.36550 月分
勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分	勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分
勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分	勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分
最高限度額	47.709 月分	47.709 月分	最高限度額	47.709 月分	47.709 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2~45%) 消防加算 (0.07月~3.81月) 退職時特別昇給なし		その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2~45%)	

(10) 地域手当

[地域手当の制度なし]

(11) 特殊勤務手当(平成30年4月1日現在)

支給実績(平成29年度決算)		3,873	千円
支給職員一人当たり平均支給年額(平成29年度決算)		70,418	円
職員全体に占める手当支給職員の割合(平成29年度)		88.7	%
手当の種類		4種類	
手当の種類	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績(29年度決算)
消防手当	管理職手当支給対象者を除く消防吏員	消防本部、署に勤務し、消防業務に従事する	2,592 千円
出場手当	管理職手当支給対象者を除く消防吏員	火災、救急、救助(水難)出場したとき	543 千円
機関員手当	消防吏員のうち、機関員を命ぜられた者	消防・救急各車両の維持点検を行う	126 千円
救急救命士手当	救急救命士有資格者	救急救命士として、救急業務(口頭指導含)に従事する	612 千円
			左記職員に対する支給単価
			月額 4,000円
			一回につき100円(150円)
			月額 500円
			月額 3,000円

(12) 時間外勤務手当

支給実績(29年度決算)	8,250 千円
職員1人当たり平均支給年額(29年度決算)	153 千円
支給実績(28年度決算)	6,286 千円
職員1人当たり平均支給年額(28年度決算)	112 千円

(13) その他の手当(平成30年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (29年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (29年度決算)
扶養手当	扶養親族のある職員に対して支給 ・22歳までの子10,000円 ・その他(配偶者等) 6,500円 ・15歳から22歳の子 5,000円加算	同	-	10,156 千円	274,486 円
住居手当	居住するための住宅を借り受けている職員に対して 27,000円以内	同	-	5,274 千円	288,700 円
通勤手当	交通用具利用の場合距離区分に応じて 2,000円～31,600円	同	-	2,562 千円	45,750 円
管理職手当	管理、監督の地位にある職員に対して支給 ・消防長36,000円 ・本部長、首席審議員、署長又は総務課長29,000円 ・課長又は副署長26,000円	異	支給額	2,029 千円	338,167 円
夜間勤務手当	午後10時から翌日の午前5時までの間に勤務する職員に勤務時間1時間につき勤務時間1時間当たりの給与額の100分の25を乗じて得た額を支給	同	-	3,637 千円	68,623 円
休日勤務手当	祝日法による休日等及び年末年始の休日等において正規の勤務時間中に勤務を命ぜられた職員に対し、勤務1時間当たりの給与額に100分の135を乗じて得た額を支給	同	-	15,172 千円	303,440 円
単身赴任手当	異動に伴い転居し、やむを得ず同居していた配偶者と別居し、単身で生活する職員に対し、30,000円を基本とし距離に応じ8,000円から70,000円を加算して支給	同	-	456 千円	456,000 円

#### 4 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

##### (1) 勤務時間の状況(平成30年4月1日現在)

1週間の勤務時間	1日の勤務時間	勤務時間の割振り(日勤)		
		始業	終業	休憩時間
38時間45分	7時間45分	8時30分	17時15分	12時～13時

勤務時間の割振り(隔日勤務)			
始業	終業	休憩時間	仮眠時間
8時30分	(翌日) 8時30分	12時～13時 17時15分～18時15分	23時～6時30分 (内1時間勤務有)

##### (2) 年次有給休暇の取得状況

平成29年…職員数62人に対し延べ日数515日であり、一人当たり8.3日取得している。

(3) 特別休暇の取得状況

平成29年…忌服、結婚、夏期休暇で取得している。

(4) 病気休暇の取得状況

平成29年…私傷病休暇で取得している。

(5) 介護休暇の取得状況

平成29年…実績なし

5 職員の休業に関する状況

平成29年度…実績なし

6 職員の分限及び懲戒処分の状況

平成29年度…休職者1人

7 職員のサービスの状況

営利企業等従事制限に係る許可

平成29年度…申請なし

8 職員の退職管理の状況

平成29年度…退職者及び再任用等なし

9 職員の研修の状況

平成29年度

学校入校	種別	人数
消防大学校	幹部科	1
熊本県消防学校	火災調査科	2
	救助科	2
	中級幹部科	2
	危険物科	2
	処置範囲拡大に伴う追加講習	1
	救急科	1
福岡市消防学校	九州地区警防実務研修	1
	九州地区救急実務研修	1
救急救命研修所	指導救急救命士研修	1

	内容	人数
研修協議会	一般職員1部研修	6
	一般職員2部研修	2
	新任課長研修	1
	人事評価実務研修	2
	法制執務研修	1
	新任係長研修	2
	契約事務研修	3
	エクセル応用研修	4
	パワーポイント応用研修	2
	セキュリティ基礎研修	3

内部研修	内容	人数
	トクヘリ症例検討	自主参加
	IT	自主参加
	CAFS	自主参加

その他多数派遣研修等を行っている。

10 職員の福祉及び利益の保護の状況

(1) 健康診断、人間ドックの受診状況

平成29年度

項目	実施日	人数
定期健康診断	平成29年11月	58
交代制健康診断	平成30年3月	44
人間ドック	平成29年度中	11

(2) 公務災害の発生状況

平成29年度…認定件数なし